

「第 49 回沖縄の産業まつり」で地震保険や BCP 啓発

～来場者に地震保険等を普及するとともに、産業まつりの出展者には BCP を啓発～

日本損害保険協会九州・沖縄支部 沖縄損保会（会長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、10 月 24 日（金）～26（日）に奥武山公園（那覇市）で開催された「第 49 回沖縄の産業まつり」にブースを出展しました。

「沖縄の産業まつり」は、沖縄県内の産業を紹介・促進することを目的としたイベントです。経済の発展と地域社会の活性化も目的のひとつで、ウチナーンチュはもちろん、観光客にも沖縄県の魅力あふれる産業を知ってもらうことを目指しており、今年度は 436 の企業・団体が出展し、28 万人を超える来場者がありました。

来場者に対して、世帯加入率が全国最下位となっている地震保険の加入等と呼びかけるとともに、中小企業が多い出展者に対しても、自然災害など事業継続を脅かすリスクに対して備える BCP 策定と呼びかけました。

沖縄損保会では、イベント等多くの方が集まる機会を通じて、災害等発生後の経済的備えの重要性を啓発し、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



来場者への啓発の様子



ブース出展者への説明の様子



来場者への配布チラシ



ブース出展者への説明リーフレット